

2008年度 子ども教育研究所事業報告

講演・シンポジウム・自治体との連携プロジェクト報告

- (1) 児童教育学科ホームカミングデー 「初夏のプログラム」
- (2) 「国際教育フォーラム'08」
- (3) 「基礎体力パワーアップ大作戦」報告会
- (4) 第7回 クリエイティブ保育講座

三 木 四 郎

MIKI Shiro

子ども教育研究所の2008年度の主な事業の概要を次に報告する。

(1) 児童教育学科ホームカミングデー「初夏のプログラム」

2007年度の卒業生を対象に、6月7日(土)児童教育学科ホームカミングデー「初夏のプログラム」を開催した。

第1部は「立食パーティー」で「おかえりなさい」と山根学長、三木学科長の挨拶からはじまり、久しぶりの大学の食堂でのランチを楽しみ、仲間達と楽しいひとときを過ごした。第2部は、保育所(園)、幼稚園、小学校、一般企業・進学など分科会に分れ、担当教員も同席し、懇談会に移り、新社会人になってそれぞれの職場で活躍している卒業生の近況の報告を聞いたり、お互いの悩みや課題について話し合ったりした。また、参加した教職員や仲間からアドバイスを受け、その後、各ゼミに分かれ先生方や懐かしい仲間とゆっくりと話す時間をもった。

(2) 「国際教育フォーラム'08」

テーマ：世界と日本の学力向上策 ―PISA2006・

文部科学省学力調査等から見えてくるもの―

平成20年6月28日(土)に、本学三宮サテライトキャンパスにおいて「世界と日本の学力向上策 ～PISA2006・文部科学省学力調査等から見えてくるもの～」をテーマに国際教育フォーラム'08が、開催された。

2006年に実施された OECD 生徒の学習到達度調査(PISA 2006)や2007年の文部科学省全国学力・学習状況調査の結果からは、日本の子ども達の学力や学ぶ意欲などの低下が指摘され、学習したことが

将来に役に立つという感覚が低いことも危惧されている。そのような現状をふまえ、今回のフォーラムでは、アメリカ・カナダ・韓国の第一線で活躍されている教育者を招き、各国の学力状況や学力向上策について交流すると共に、日本で今取り組むべき方向性と課題について講演とパネルディスカッションによって明らかにする事を目的に開催した。

第1部の基調講演では、大阪大学大学院人間科学研究科教授の志水宏吉氏より、「日本の学力向上策～『力のある学校』づくりに向けて～」のテーマで、日本の学力向上策について講演を頂いた。

第2部では、上記の基調講演を受ける形で、本学の新保真紀子准教授のコーディネートにより、「世界と日本の学力向上策と今後の展望」をテーマにパネルディスカッションが行われた。パネルディスカッションは、ラリー・ヌッチ氏(アメリカ・カリフォルニア大学バークレー校客員教授)、ティム・カミノ氏(カナダ・イズリントン小中学校副校長)、ジョン・ジンヘ氏(韓国・ソウル女子大学附属ファラン初等学校校長)によって、それぞれ各国・各学校の学力向上策の説明を頂いたあと、志水氏も加わってのディスカッションが行われた。

会場からも多数のご意見やご質問を頂き、これからの日本の学力向上策の方向性と課題が明らかになる充実したフォーラムとなった。参加者は200名を越え、遠く熊本や福岡、愛媛からの参加者もあった。

日 時：2008年6月28日

場 所：三宮サテライトキャンパス
プログラム

講 演：日本の学力向上策の課題

～「力のある学校」づくりに向けて～

講演者：志水宏吉氏（大阪大学大学院教授）

パネルディスカッション

「世界と日本の学力向上策と今後の展望」

パネリスト：

志水宏吉氏（大阪大学大学院教授）

ラリー・ヌッチ氏（アメリカ・イリノイ大学シ
カゴ校名誉教授）

ティム・カミノ氏（カナダ・トロント市イズリ
ントン小中学校副校長）

チョン・ジンヘ氏（韓国・ソウル女子大学附属
ファラン初等学校校長）

コーディネーター：新保真紀子准教授

(3)「基礎体力パワーアップ大作戦」報告会

本学と豊岡市教育委員会の協定に基づいて2006年
以来継続してきた「基礎体力パワーアップ大作戦」
は、2007年度で一応の区切りを迎えた。本プロジェ
クトでは①体力測定データと連動した生活実態調査
の実施、②小学生と担任教師が主対象の特別支援プ
ログラム、③教師対象の体育実技研修会という三つ
の活動を行ってきた。今年はまとめの年となり、報
告会を開催した。報告会には学校関係者を中心に約
200名の出席者が集まった。

日 時：2008年8月22日

場 所：出石文化会館ひばこホール

「基礎体力パワーアップ大作戦」報告会

報告Ⅰ：「体力と生活実態調査の分析結果」

間瀬泰尚講師

報告Ⅱ：「生活実態調査からみる食育」

山口香織講師

総 括：「豊岡の子どもたちの体力は？」

但尾哲哉教授

(4) 第7回 クリエイティブ保育講座

ー子育て支援センター『すくすく』開設1周年を迎
えてー

子育て支援センター開設1周年を記念する講演会
とシンポジウムを開催した。

第1部は神戸市保健福祉局子育て支援部子育て政
策係長の天野氏より「神戸市の子育て支援対策」に
ついてご講演をいただいた後、本学の「子育て支援
センターすくすく」次いで親和保育園今村園長によ
る「親和保育園の子育て支援の現状」と題した報告
があった。

第2部は神戸市北区保健福祉部長川島氏、私立松
風幼稚園長貴田氏、神戸市立兵庫くすのき幼稚園長
野口氏、神戸市立桜の宮保育所長塩津氏をシンポジ
ストに「これからの子育て支援を考える」をテーマ
にしたシンポジウムを開催した。各施設それぞれの
特性をいかした子育て支援の現状報告があった後は、
地域性に応じたニーズを把握し、それにそった子育
て支援のあり方を模索する必要性について再確認を
行った。

講座当日は、行政、保育、地域、センター利用者、
そして学生と様々な面で子育て支援について深い
関心を持った方々150名以上の参加があった。

日 時：2009年2月14日

場 所：本学 421号教室

講 演：「神戸市の子育て支援対策について」

講演者：天野稔也氏（神戸市保健福祉局子育て支援
部子育て政策係長）

報 告：「すくすく活動報告」石岡由紀准教授

発 表：「親和保育園の子育て支援実践について」

今村里香氏（親和保育園長）

シンポジウム「これからの子育て支援を考える」

コーディネーター：中橋美穂准教授

シンポジスト：

川島芳雄氏（神戸市北区保健福祉部長）

貴田貴美子氏（私立松風幼稚園長）

野口啓子氏（神戸市立兵庫くすのき幼稚園長）

塩津恵理子氏（神戸市立桜の宮保育所長）

石岡由紀准教授